

中心市街地活性化基本計画
平成25年度最終フォローアップ報告

平成26年8月

内閣官房地域活性化統合事務局

内閣府地域活性化推進室

目 次

- I. 中心市街地活性化基本計画 最終フォローアップの概要 …… 1 ページ
- II. 目標指標分野別分析結果の概要 …… 2 ページ
 - (1) 集計結果
 - (2) 取組の進捗状況
 - (3) 目標達成の状況
 - (4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況
- III. 中心市街地活性化テーマ別分析結果の概要 …… 7 ページ
 - (1) 集計結果
 - (2) 取組の進捗状況
 - (3) 目標達成の状況
 - (4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況
- IV. 計画期間終了後の中心市街地の状況 …… 10 ページ
 - (1) 進捗・完了状況及び活性化状況について
 - (2) 中心市街地活性化協議会の意見について
 - (3) 市民からの評価、市民意識の変化について
- V. 取組の進捗状況及び目標を達成した好調な事例 …… 12 ページ
- VI. 取組の進捗状況及び目標達成見通しに関する各市からの報告 …… 14 ページ

I. 中心市街地活性化基本計画 最終フォローアップの概要

中心市街地活性化を図るために、市町村が作成し、推進する「中心市街地活性化基本計画」（以下「基本計画」という。）については、「中心市街地活性化新法（平成18年施行）」に基づき、第1号に認定が行われた平成19年2月以降、平成26年7月末時点で、計119市作成による155の基本計画が内閣総理大臣の認定を受けています。

平成25年度には、全国25市27計画の認定「中心市街地活性化基本計画」が計画期間を満了しました。今般、この25市(27計画)が中心市街地活性化の取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等について、最終フォローアップとして自己評価を実施しました。

最終フォローアップについて

○基本計画では、一般的には、各市町村が複数の目標を設定し、その達成度合いを評価するための指標（目標指標）を数値により設定している。

今般、最終フォローアップ対象となる25市(27計画)の基本計画では、合計82の目標指標が採用されており、各種事業をもって当該目標の達成に向けた取組が行われてきた。

○認定を受けた基本計画については、各市町村自ら、計画期間満了後に、取組（事業等）が予定どおり進捗したのか、市町村としての目標は達成されたのか等をフォローアップ（自己評価）することとされている。

平成25年度最終フォローアップ対象

25市 27計画 82指標*（詳細はP14, 15に掲載）

※平成26年7月末時点で、119市 155計画が内閣総理大臣の認定を受けている。

【参考：平成24年度】30市 30計画 95指標

取組の進捗状況と目標達成に関する集計結果

○フォローアップ対象の全82指標を下記の分類により集計を行った。

<取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等の分類>

A（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えている。）

a（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績でも目標値を超えている。）

B（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。）

b（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。）

C（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。）

c（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。）

	進捗状況は概ね予定どおり	取組進捗は遅延等
目標達成	A : 13指標 (16%) 〔平成24年度：23指標 (24%)〕	a : 4指標 (5%) 〔平成24年度：3指標 (3%)〕
目標は未達だが、 計画当初より改善	B : 14指標 (17%) 〔平成24年度：17指標 (18%)〕	b : 3指標 (4%) 〔平成24年度：11指標 (12%)〕
計画当初 より悪化	C : 37指標 (45%) 〔平成24年度：28指標 (29%)〕	c : 11指標 (13%) 〔平成24年度：13指標 (14%)〕

II. 目標指標分野別分析結果の概要

各市がフォローアップを行った目標指標を7分野に分類し、各分野の取組の進捗状況、目標達成の見通し、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果

目標指標分野別集計結果

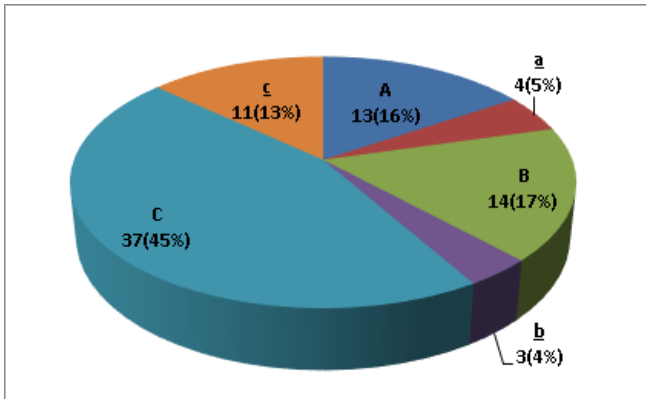
○ 各市がフォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗状況及び目標達成の見通しについて、以下のA～Gの7つに分類した上で集計を行った。

見通し	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A	13	3	3	0	1	4	0	2
a	4	1	0	0	0	1	1	1
B	14	8	2	0	2	1	0	1
b	3	0	1	1	0	1	0	0
C	37	13	7	7	0	7	0	3
c	11	3	3	2	0	1	0	2
合計	82	28	16	10	3	15	1	9

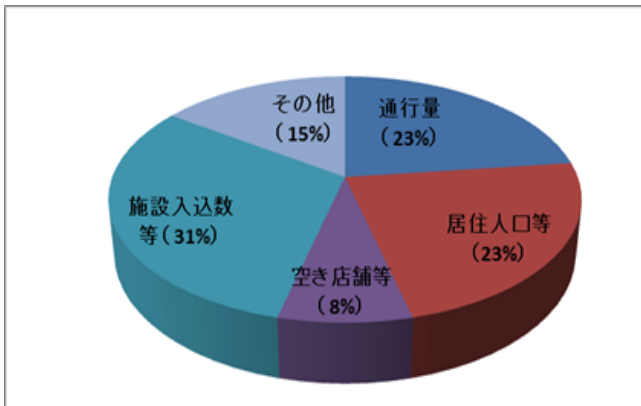
<目標指標分野の分類基準と主な取組例>

目標指標分類	主な目標指標	主な取組例
① 通行量	歩行者・自転車通行量 等	歩道整備、公園整備、商業施設整備、イベント開催 等
② 居住人口等	居住人口 等	居住環境整備（土地区画整理、マンション建設、商業施設整備等、介護施設整備）、家賃補助 等
③ 販売額等	小売業年間商品販売額 等	駐車場整備、集客拠点整備、イベント開催、新規出店・起業支援 等
④ 空き店舗等	空き店舗率、空き店舗数 等	新規出店支援、店舗の新築や増改築の支援 等
⑤ 施設入込数等	観光施設入込客数、文化施設・都市福利施設の利用者数 等	複合施設整備、イベント開催 等
⑥ 公共交通機関利用	鉄道駅乗降客数	駅バリアフリー化設備整備、運行ダイヤ改善 等
⑦ その他	上記①～⑦以外の目標指標として、平成25年度は、「市民の企画によるイベント回数」「サービス飲食業のシェア」「事業者数」等の指標がフォローアップの対象となっている。これらの目標指標に対して、交流拠点施設の管理運営、空き店舗対策、市街地再開発等の取組が行われている。	

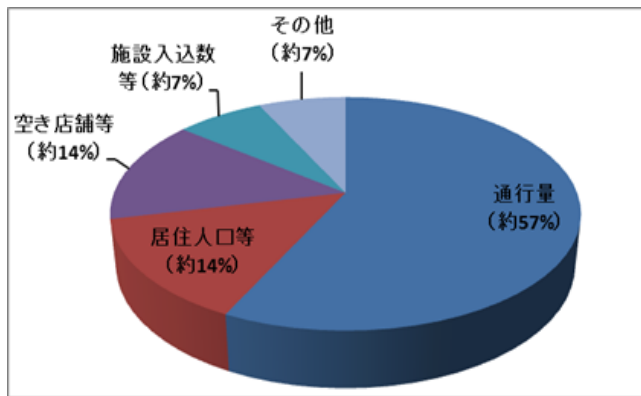
＜取組の進捗状況及び目標達成に関する分類別指標数＞



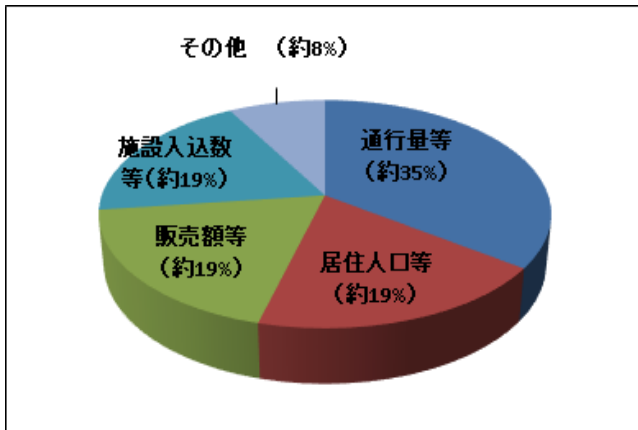
＜分類A（全13指標）の内訳＞



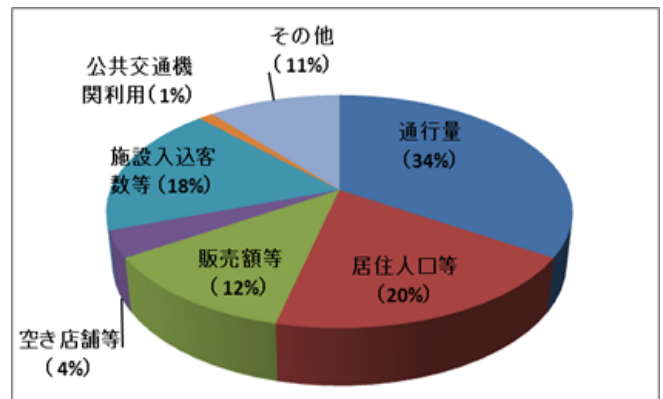
＜分類B（全14指標）の内訳＞



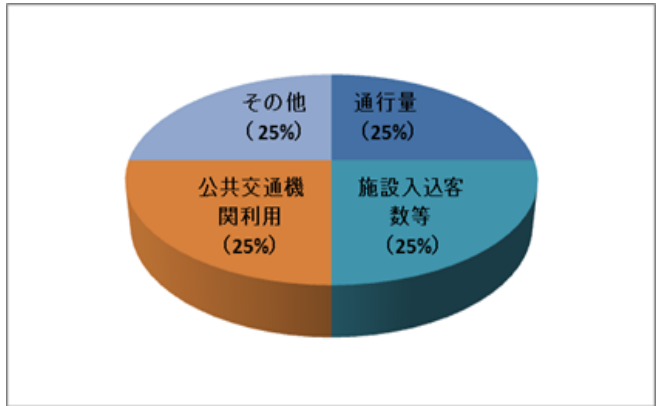
＜分類C（全37指標）の内訳＞



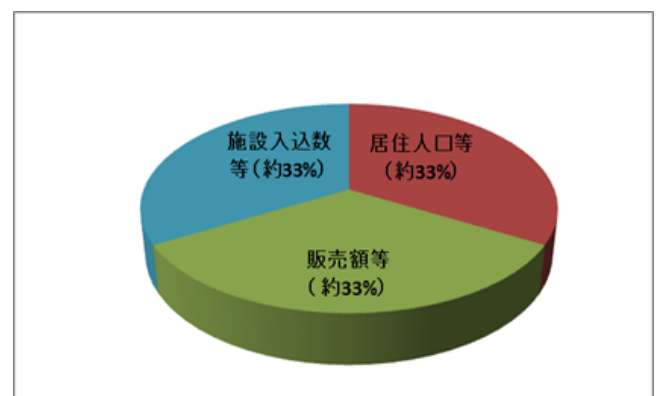
＜目標指標分野別の指標数＞



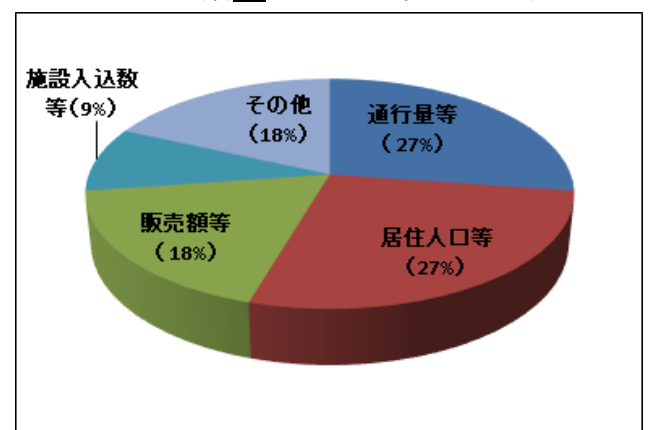
＜分類a（全4指標）の内訳＞



＜分類b（全3指標）の内訳＞



＜分類c（全11指標）の内訳＞



(2)取組の進捗状況

- 取組（事業等）の進捗が順調である^(注1) 目標指標は全体の78%である。
（平成24年度72%）
- 「通行量」、「空き店舗等^(注2)」、「施設入込数等」に関する目標指標は、取組の進捗が順調である指標の割合（取組順調率）が平均よりも高い^(注3)。
- 一方で、「販売額等」に関する目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い^(注3)。

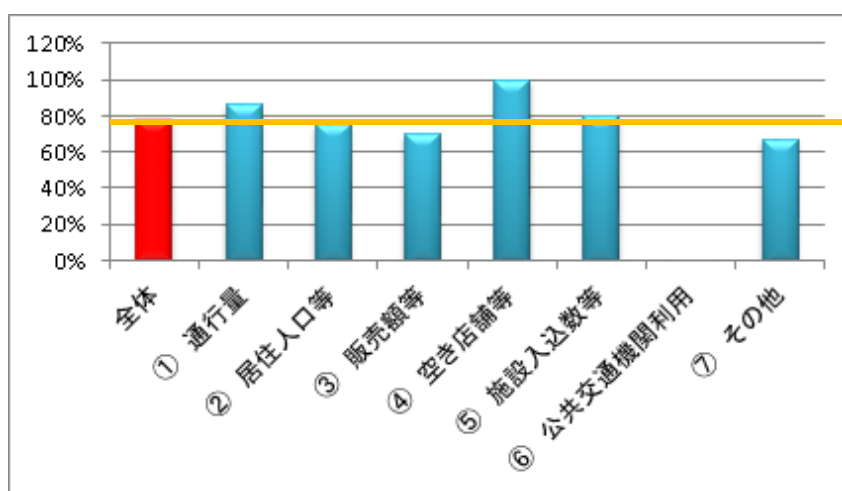
取組の進捗状況に関する分析結果

<各目標指標分野のA、B及びCの割合>

見通し	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額 等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A+B+C	64	24	12	7	3	12	0	6
<u>a</u> + <u>b</u> + <u>c</u>	18	4	4	3	0	3	1	3
合計	82	28	16	10	3	15	1	9
取組順調率	78%	86%	75%	70%	100%	80%	0%	67%

$$\text{取組順調率} = (A+B+C) / (A + \underline{a} + B + \underline{b} + C + \underline{c})$$

<目標指標分野別、取組順調率の比較>



(注1) 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等の分類（P1参照）のうち、「予定どおり進捗・完了」したものはA、B及びCが、進捗が「予定どおりでない」ものはa、b及びcが、それぞれ相当する。

(注2) 「空き店舗等」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。

(注3) 全目標指標のうちA、B及びCが選択された割合（取組順調率）が78%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(3)目標達成の状況

- 目標を達成した^(注1) 目標指標は全体の21%である。(平成24年度27%)
- 「空き店舗等^(注2)」、「施設入込数等」に関する目標指標は、目標を達成した指標の割合(目達達成率)が全体平均よりも高い^(注3)。
- 一方で、「通行量」、「居住人口等」、「販売額等」に関する目標指標の目達達成率は、全体平均よりも低い^(注3)。

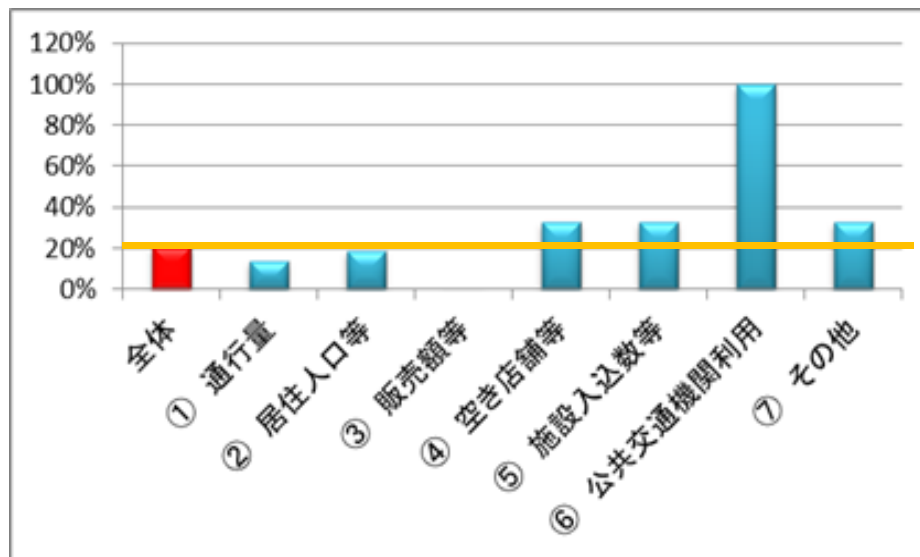
目標達成の状況に関する分析結果

<各目標指標分野のA及びaの割合>

見通し	全体	① 通行量	② 居住人口 等	③ 販売額 等	④ 空き店舗 等	⑤ 施設入込 数等	⑥ 公共交通 機関利用	⑦ その他
A + a	17	4	3	0	1	5	1	3
B + b + C + c	65	24	13	10	2	10	0	6
合計	82	28	16	10	3	15	1	9
目標達成率	21%	14%	19%	0%	33%	33%	100%	33%

$$\text{目達見込率} = (A + a) / (A + a + B + b + C + c)$$

<目標指標分野別目達達成率の比較>



(注1) 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等の分類(P1参照)のうち、「目標が達成」したものはA及びaが、「目標未達成」ものはB、b、C及びcが、それぞれ相当する。

(注2) 「空き店舗等」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。

(注3) 全目標指標のうちA及びaが選択された割合(目標達成率)が21%であったため、これと比較して数値が大きい(小さい)場合には、「目標達成率が全体平均よりも高い(低い)」としている。

(4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況

- 現況（実績値）が基本計画策定時の状況（基準値）から改善している目標指標は全体の41%である。（平成24年度57%）
- 「通行量」、「空き店舗等^(注1)」、「施設入込数等」に関する目標指標は、実績値が基準値から改善している指標の割合（基準値改善率）が全体平均より高い^(注2)。
- 一方で「居住人口等」、「販売額等」に関する目標指標は、基準値改善率が全体平均よりも低い^(注2)。

基準値からの改善状況及び目標達成状況に関する分析結果

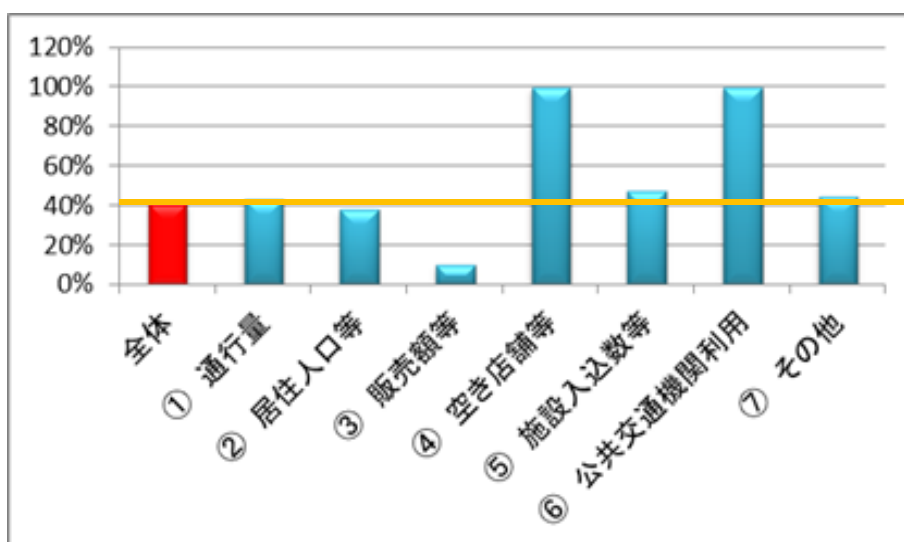
<各目標指標分野の改善状況及び目標達成状況>

改善状況	全体	A 通行量	B 居住人口 等	C 販売額等	D 空き店舗 等	E 施設入込 数等	F 公共交通 機関利用	G その他
基準値より改善	34	12	6	1	3	7	1	4
（うち、目標達成）	17	4	3	0	1	5	1	3
基準値より悪化	48	16	10	9	0	8	0	5
合計	82	28	16	10	3	15	1	9
基準値改善率	41%	43%	38%	10%	100%	47%	100%	44%
目標達成率	21%	14%	19%	0%	33%	33%	100%	33%

基準値改善率＝基準値より改善 / （基準値より改善＋基準値より悪化）

目標達成率＝基準値より改善した指標のうち目標値を上回るもの / （基準値より改善＋基準値より悪化）

<目標指標分野別、基準値改善率の比較>



(注1) 「空き店舗等」に関しては、目標指標数そのものが少ないため、有意な結果となっていない可能性がある。

(注2) 全目標指標のうちA、a、B及びbが選択された割合（基準値改善率）が41%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

Ⅲ. 中心市街地活性化テーマ別分析結果の概要

- 例えば「歩行者・自転車通行量」の目標指標においては、調査日が平日と休日によって、通行する人（前者は地域住民、後者は買い物客・観光客等の来街者が中心）や目標達成に向けた取組が異なる。
- そこで、フォローアップ対象の目標指標を中心市街地活性化のテーマ（居住者の利便性向上、来街者の呼び込み、商業振興）別に分類し、取組の進捗状況、目標達成の見通し、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果

テーマ別集計結果

- 各市がフォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗状況及び目標の達成状況について、以下のa～cの3つに分類した上で集計を行った。

見通し	全 体	I 居住者の利便性 向上による活性化	II 来街者の呼び込 みによる活性化	III 商業振興による 活性化
A	13	6	5	2
a	4	2	1	1
B	14	4	7	3
b	3	1	1	1
C	37	8	19	10
c	11	4	4	3
合計	82	25	37	20

<取組の進捗・完了状況及び目標達成状況等の分類>

- A（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えている。）
- a（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績でも目標値を超えている。）
- B（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。）
- b（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。）
- C（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。）
- c（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。）

目標指標分類	主な目標指標	主な取組例
I 居住者の利便性向上による活性化	歩行者・自転車通行量(平日)*、居住人口、子育て施設・福祉施設・図書館等の利用者数 等	歩道整備、文化交流施設整備、複合施設整備、居住環境整備（土地区画整理、マンション建設、商業施設整備等）、家賃補助、イベント開催 等
II 来街者の呼び込みによる活性化	歩行者・自転車通行量(休日)*、観光施設入込客数、宿泊客数、鉄道駅乗降客数 等	歩道整備、複合施設整備、イベント開催、交通体系整備（ダイヤ・駅バリアフリー化） 等
III 商業振興による活性化	小売業年間商品販売額、空き店舗率、事業者数 等	集客拠点整備、駐車場整備、イベント開催、新規出店・起業支援、テナントミックス、空き店舗情報の公開 等

*「歩行者・自転車通行量」の指標のうち、平日・休日平均又は平日・休日合計で数値を把握しているものについては、休日のほうが通行量が落ち込んでいる傾向があり、対策を必要としている市町村が多いことから、「II」に分類した。

(2)取組の進捗状況について

- 「来街者の呼び込みによる活性化」及び「商業振興による活性化」のテーマに関係する目標指標は、取組の進捗が順調である^(注1) 指標の割合（取組順調率）が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「居住者の利便性向上による活性化」のテーマに関係する目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い^(注2)。

取組の進捗状況に関する分析結果

<中心市街地活性化に関する各テーマのA、B及びCの割合>

見通し	全体	I 居住者の利便性 向上による活性化	II 来街者の呼び込 みによる活性化	III 商業振興による 活性化
A+B+C	64	18	31	15
<u>a+b+c</u>	18	7	6	5
合計	82	25	37	20
取組順調率	78%	72%	84%	75%

$$\text{取組順調率} = (A+B+C) / (A+\underline{a}+B+\underline{b}+C+\underline{c})$$

(注1) 取組の進捗状況及び目標達成に関する分類（P1参照）のうち、進捗が概ね予定どおりであるものはA、B及びC、進捗が予定どおりでないものはaとbとcが、それぞれ相当する。

(注2) 全目標指標のうちA、B及びCが選択された割合（取組順調率）が78%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(3)目標達成見通しの状況について

- 「居住者の利便性向上による活性化」のテーマに関係する目標指標は、目標を達成している^(注1) 指標の割合（目達達成率）が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「来街者の呼び込みによる活性化」及び「商業振興による活性化」のテーマに関係する目標指標の目達達成率は、全体平均よりも低い^(注2)。

目標達成の状況に関する分析結果

<中心市街地活性化に関する各テーマのA及びaの割合>

見通し	全体	I 居住者の利便性 向上による活性化	II 来街者の呼び込 みによる活性化	III 商業振興による 活性化
A+a	17	8	6	3
B+ <u>b</u> +C+ <u>c</u>	65	17	31	17
合計	82	25	37	20
目達達成率	21%	32%	16%	15%

$$\text{目達達成率} = (A+\underline{a}) / (A+\underline{a}+B+\underline{b}+C+\underline{c})$$

(注1) 取組の進捗状況及び目標達成に関する分類（P1参照）のうち、目標達成としているものはA及びa、目標成できなかったとしているものはB、b、C及びcが、それぞれ相当する。

(注2) 全目標指標のうちA及びaが選択された割合（目達見込率）が21%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「目達見込率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

(4) 基準値からの改善状況及び目標達成状況について

- 「居住者の利便性向上による活性化のテーマに関する目標指標は、実績値が基準値から改善している指標の割合（基準値改善率）が全体平均よりも高い^(注1)。
- 一方で、「商業振興による活性化」及び「来街者の呼び込みによる活性化のテーマに係る目標指標の基準値改善率は全体平均よりも低い^(注2)。

基準値からの改善状況及び目標達成状況に関する分析結果

< 中心市街地活性化に関する各テーマの改善状況及び目標達成状況 >

改善状況	全体	I 居住者の利便性 向上による活性化	II 来街者の呼び込 みによる活性化	III 商業振興による 活性化
基準値より改善	34	13	14	7
(うち、目標達成)	17	8	6	3
基準値より悪化	48	12	23	13
合計	82	25	37	20
基準値改善率	41%	52%	38%	35%
目標達成率	21%	32%	16%	15%

基準値改善率＝基準値より改善 / (基準値より改善＋基準値より悪化)

目標達成率＝基準値より改善した指標のうち目標値を上回るもの / (基準値より改善＋基準値より悪化)

(注1) 全目標指標のうち、実績値が基準値から改善している目標指標の割合（基準値改善率）が41%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い(低い)」としている。

IV. 計画期間終了後の中心市街地の状況

各市が市街地の状況や中活協議会及び市民の意見等を参考に、認定自治体として計画した事業が順調に進捗・完了したかどうか、また、中心市街地という単位で活性化が図られたかどうかについて総合的な判断を行った。

(1) 進捗・完了状況及び活性化状況について

○ 対象自治体25市（27計画）のうち25計画が、計画した事業が概ね順調に進捗・完了したと判断している。

【進捗・完了状況】

(計画期間終了後の状況)	概ね順調に進捗・完了した	順調に進捗したとはいえない
計画数(全27計画)	25	2

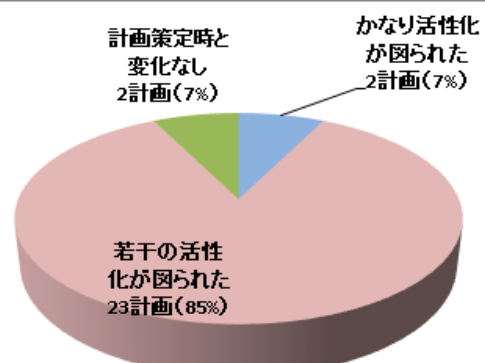
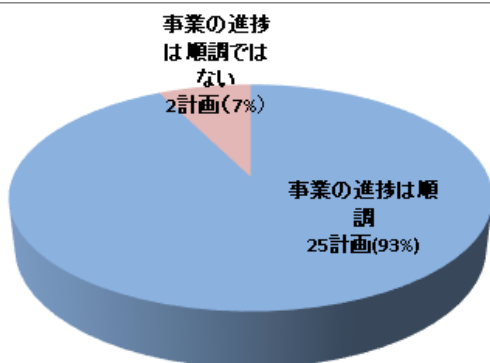
【活性化状況】

(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)
計画数(全27計画)	2	23	2	0

※計画した事業は予定どおり進捗・完了したのか。また、中心市街地の活性化は図られたのかを個別指標毎でなく中心市街地の状況を自治体が総合的に判断。

【進捗・完了状況】

【活性化状況】



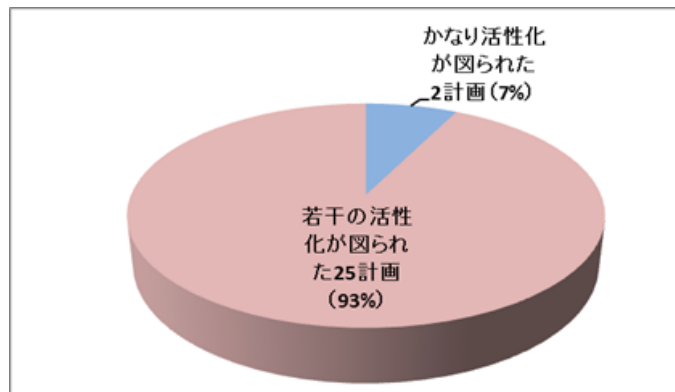
(2) 中心市街地活性化協議会の意見について

○対象自治体25市（27計画）のすべての自治体における中心市街地活性化協議会が、中心市街地の活性化が図られたと意見している。

【中心市街地活性化協議会としての意見】

（計画期間終了後の状況）	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）	活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）
計画数（全27計画）	2	25	0	0

※中心市街地という単位で活性化が図られたかどうかを中心市街地活性化協議会として判断。



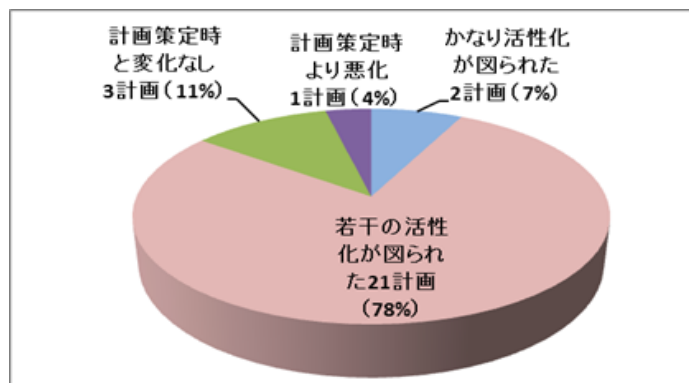
(3) 市民からの評価、市民意識の変化について

○対象自治体25市（27計画）のうち、約8割の自治体における市民が、活性化が図られたと感じている。

【市民からの評価、市民意識の変化】

（計画期間終了後の状況）	かなり活性化が図られた	若干の活性化が図られた	活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）	活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）
計画数（全27計画）	2	21	3	1

※中心市街地の活性化状況について市民意識調査等により市民の声を聴取し、市民意識の変化を総合的に判断。




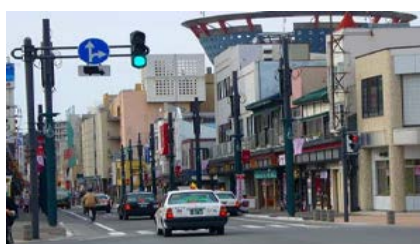
V. 好取組事例

① 歩行者通行量の増加に繋がっている事例

市町村名	日向市（宮崎県）【平成20年3月12日認定】				
計画期間	平成20年4月～平成26年3月				
目標指標	歩行者・自転車通行量				
基準値	1,700人 (平成18年)	実績値	2,479人 (平成25年)	目標値	2,250人 (平成25年)
取組概要	<p>○平成18年12月に開業した新しい日向市駅は、中心市街地の核はもとより本市の玄関口として集客・回遊の拠点となると伴に、街のシンボリックな存在として賑わいの創出に大きく寄与した。</p> <p>○駅前交流広場、野外ステージ及び11街区の公園広場が完成するなど区域内に計画されていた交流拠点施設が概ね完成した事によりイベント環境が尚一層充実し、市民企画によるイベント数増加により集客数も大幅に伸びた。</p> <p>○中心市街地の区画整理事業による商業集積や空き店舗対策事業、コミュニティバス増便などの効果として、若年層や高齢者の来街者が増えた。</p>				
					
	＜日向ひよっこ夏祭り（毎年8月開催）＞		＜交流広場の噴水で遊ぶ子供達＞		

※詳細はこちら（日向市 HP）：<http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/display.php?cont=140314093645>

② 空き店舗率の低下に繋がっている事例



市町村名	弘前市（青森県）【平成20年7月9日認定】				
計画期間	平成20年7月～平成26年3月				
目標指標	中心商店街空き店舗率				
基準値	13.7% (平成18年)	実績値	8.5% (平成25年)	目標値	8.5% (平成25年)
取組概要	<p>○計画区域内の空き店舗に新たに小売・サービス業の店舗を出店する事業者に対し店舗改修費等の補助を実施し、空き店舗の利活用の促進を図った。</p> <p>○商店街振興組合等と連携し、空き店舗情報を収集してポータルサイトを活用した情報提供を行い、情報の集約や地権者と利用・取得希望者のマッチングの支援や、専門家を活用した空き店舗への魅力ある業種・業態の誘致、県の融資を活用して開業する者に対して、市が保証料や利子の一部を補助する支援を実施した。</p> <p>○上記施策を中心市街地活性化協議会や関係各団体と密に連携しながら一体的に推進した結果、中心市街地の空き店舗率は大幅に改善され、中心市街地の賑わい創出に繋がった。</p>				
					
	＜空き店舗を活用して開業した飲食店＞		＜中心商店街の様子＞		

※詳細はこちら（弘前市 HP）：<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gyosei/keikaku/sigaichi/>

③ 施設入込数等の増加に繋がっている事例

市町村名	長岡市（新潟県）【平成20年11月11日認定】				
計画期間	平成20年11月～平成26年3月				
目標指標	まちなか交流拠点（シティホール）施設利用者数				
基準値	325,000人／年 （平成18年）	実績値	1,223,589人／年 （平成25年）	目標値	780,000人／年 （平成25年）
取組概要	<p>○中心市街地は、都市機能の更新と再集積、さらには、市役所機能のまちなか回帰などにより、市民が憩い集う「居場所」となっており、広域市民の「文化・情報・交流の場」へと質的な転換を図った</p> <p>○平成24年4月に開業した「シティホールプラザ アオーレ長岡」は従来の公共施設利用の概念を超え、大規模イベントから一般のスポーツ利用などにも利用できるアリーナや、中規模のイベントやサークル活動などを行うことに適した市民交流ホールA、ナカドマ（屋根付き広場）等が整備されている。</p> <p>○市民ニーズに対応した運用が可能となったことより、利用者は初年度の平成24年度1年間で約128万人と見込みを大幅に超え市民から好評を博し、今後も中心市街地全体の公共公益施設の連携を強化しながら、まちなかで活動する人のさらなる増加となるよう中心市街地の活性化を図っていく。</p>				
					
	＜うんめい酒にアオーレ＞		＜まちなか七夕まつりビアフェスタ＞		

※詳細はこちら（長岡市 HP）：<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate01/sigaiti-kassei/nintei.html>

市町村名	長浜市（滋賀県）【平成21年6月30日認定】				
計画期間	平成21年6月～平成26年3月				
目標指標	宿泊者数				
基準値	309,300人 （平成19年）	実績値	366,800人 （平成25年）	目標値	339,000人 （平成25年）
取組概要	<p>○長期間空き家となっていた伝統町家を、宿泊施設やゲストハウスとして活用するなど、これまでから取り組んできたオールドタウンの再生をさらに進め、面的な魅力の強化を図った。</p> <p>○計画事業として整備された産業ミュージアムのほか、複数の観光施設がオープンし、観光地としてのポテンシャルが高まり、観光客の回遊性が向上した。</p> <p>○上記事業にあわせて、ロングランイベント等のソフト事業を実施したことにより、認定以降は宿泊者数がほぼ増加傾向で推移し、商業観光都市としての魅力向上、誘客促進といった効果が生まれている。</p> <p>○今後は、さらなる魅力づくりを展開するとともに、滞在型観光施策を推進し、多様な人々を迎え入れ活発な交流が生まれる中心市街地づくりを進める。</p>				
					
	＜町家ゲストハウス＞		＜産業ミュージアム＞		

※詳細はこちら（長浜市 HP）：<http://www.city.nagahama.shiga.jp/index.cfm/6,7223,76,500,html>

VI. 取組の進捗状況及び目標達成見通しに関する各市からの報告

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- A (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えている。)
- a (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績でも目標値を超えている。)
- B (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。)
- b (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えたが、目標値には達していない。)
- C (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。)
- c (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値及び基準値にも達していない。)

<進捗・完了、活性化状況について、自治体、中活協議会、市民からの評価>

- ①かなり活性化が図られた
- ②若干の活性化が図られた
- ③活性化に至らなかった(計画策定時と変化なし)
- ④活性化に至らなかった(計画策定時より悪化)

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	自治体評価			中活協議会 意見	市民 評価
				評価 分類	進捗 完了 状況	活 性 化 状 況		
平成19年11月30日認定								
青森県	三沢市	国際色を愉しめる賑わいあふれる中心市街地	休日歩行者通行量	B				
		国際色を愉しめる賑わいあふれる中心市街地	小売業年間商品販売額	C	①	②	②	②
		安心して生活し続けられる中心市街地	中心市街地居住人口	C				
平成20年3月12日認定								
千葉県	柏市	商業の活性化を図る	中心市街地における小売年間販売額	c				
		まちなかの回遊性の向上を図る	歩行者通行量	c	②	②	②	②
		まちなかの魅力の向上を図る	滞留時間	c				
福岡県	久留米市	市民活動による賑わいのある街(賑わいの創出)	休日歩行者通行量	C				
		多様なサービスを受けられる利便性が高い街(多様なサービスの提供)	空き店舗率	B	①	②	②	②
		多様なサービスを受けられる利便性が高い街(多様なサービスの提供)	サービス飲食業のシェア	A				
		便利な生活環境のもとで住み続けたい街(定住の促進)	居住人口	A				
宮崎県	日向市	人が集い、人がふれあう、活気に満ちた生活文化交流空間づくり	歩行者・自転車通行量	A				
		誰もが安心して暮らせる、便利でコンパクトなまちづくり	活性化区域内の居住人口	A	①	①	①	①
		市民協働による持続可能なまちづくり	市民の企画によるイベント回数	A				
奈良県	奈良市	訪れたいまち	文化・観光施設の年間入込客数	C				
		歩きたいまち	歩行者・自転車通行量(休日)	C	①	②	②	②
		活力のあるまち	小売業年間商品販売額	C				
平成20年7月9日認定								
青森県	弘前市	歩いて出かけたいまち	歩行者・自転車通行量(平日と休日の平均)	C				
		歩いて出かけたいまち	中心商店街空き店舗率	A	①	②	②	②
		歴史・文化と触れ合える観光のまち	中心市街地観光施設等入場者数	b				
愛媛県	西条市	賑わいと回遊性の向上	歩行者・自転車通行量(休日)	C	①	③	②	④
		まちなか居住の推進	居住人口	C				
福岡県	北九州市 (小倉)	広域商業拠点の賑わいの向上	商店街エリアを中心とした歩行者通行量	B				
		広域商業拠点の賑わいの向上	大規模商業施設の年間来店者数	C	①	②	②	②
		文化的で非日常的な都心の魅力向上	主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数	B				
		屋間人口の拡大による活力向上	事業所従業員数	B				
福岡県	北九州市 (黒崎)	来街者で賑わうまち(集客と回遊性の強化)	中心市街地における歩行者通行量	C				
		住みたい・住み続けたいまち(定住人口の増進)	中心市街地内の居住人口	A	①	②	②	②
		経済活力のあるまち(商業の活性化)	中心市街地の小売業年間商品販売額	C				
		経済活力のあるまち(商業の活性化)	中心商店街ゾーン空き店舗率	B				
長崎県	諫早市	賑わうまち	アエル中央商店街の休日歩行者通行量	c				
		ひとが集うまち	島原鉄道本諫早駅乗降客数	a	②	②	②	②
		安心して生活できるまち	居住人口	b				
長野県	飯田市	人々の交流によるにぎわいの回復	歩行者・自転車通行量	B	①	②	②	②
		環境に配慮し、安心安全な暮らしの実現	都市福利施設の利用者数	A				
平成20年11月11日認定								
北海道	岩見沢市	まちなか住まいを促進する	中心市街地居住者人口	C				
		まちなか回遊を促進する	中心市街地歩行者通行量	C	①	③	②	③
		まちなか雇用を促進する	中心市街地従業員数	C				
栃木県	大田原市	多様な市民活動のさらなる集積と発信による賑わい創出	中心市街地における歩行者・自転車数	B				
		人にやさしいまちなか居住の推進	中心市街地における定住人口	c	①	②	②	②
		地域特性を踏まえた商業の振興	小売業年間商品販売額	c				

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	自治体評価			中活協 議会 意見	市民 評価
				評価 分類	進捗 完了 状況	活性 化状 況		
群馬県	高崎市	高崎市圏の地域活性化を牽引する、経済活力に満ちたまち	小売業年間商品販売額	b	①	②	②	②
		市民の出会いと交流の舞台となる、賑わいあふれるまち	歩行者・自転車通行量（休日）	C				
		音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち	各種文化施設の利用者数の合計値	C				
新潟県	長岡市	まちに「来る人」を増やす	歩行者・自転車通行量	B	①	①	①	①
		まちに「住む人」を増やす	居住者数	B				
		まちで「働く人」を増やす	従業者数	C				
		まちで「活動する人」を増やす	まちなか交流拠点（シティホール）施設利用者数	A				
新潟県	上越市	街のにぎわいの向上	歩行者交通量の増加	C	①	②	②	②
		商店街の魅力の向上	年間商品小売販売額の増加	C				
		まちなか居住の推進	居住人口の増加	C				
長野県	塩尻市	中心市街地のにぎわいの促進	中心市街地内の歩行者・自転車通行量	a	①	②	②	③
		街なか居住の促進	中心市街地商業エリアの人口密度	c				
		新たな産業や文化の創出	中心市街地内の事業所数	a				
鳥取県	米子市	人が集い賑わうまちをつくる	歩行者通行量（自転車を含む）	C	①	②	②	②
		歴史や文化、自然に触れ合えるまちをつくる	下町観光ガイドの利用者数	C				
		歴史や文化、自然に触れ合えるまちをつくる	湊山公園の入場者数	c				
		住みたくなるまちをつくる	居住人口	C				
平成21年3月27日認定								
岩手県	遠野市	多くの観光客が訪れる中心市街地	観光入込み数	C	①	②	②	②
		まちなかの賑わい創出	歩行者・自転車・バイク通行量	c				
福島県	白河市	城下町の快適な暮らしづくり	中心市街地の居住人口	c	①	②	②	②
		匠の技とおもてなしの商店街づくり	小売業及び一般飲食店事業所数	C				
		市民共楽のふるさとづくり	平日歩行者通行量	A				
静岡県	静岡市 (静岡)	「人」が主役の、憩い・くつろぎのまち（都市空間の質的改善）	歩行者通行量	C	①	②	②	②
		「人」が集まる、魅力・にぎわいのまち（集客・交流機能の魅力向上）	年間小売販売額	C				
		「人」が集まる、魅力・にぎわいのまち（集客・交流機能の魅力向上）	施設利用者数	A				
静岡県	静岡市 (清水)	暮らしが楽しくなるみなとまち	居住人口	B	①	②	②	②
		にぎわいあふれるみなとまち	観光交流客数	C				
		魅力が広がるみなとまち	歩行者通行量	C				
愛知県	名古屋市	歩いて楽しい快適な都市環境の形成	歩行者通行量	B	①	②	②	②
		高度な利便性を提供できる多様な都市機能の集積と充実	主要文化施設の入場者数	A				
		魅力と賑わいあふれる商業地の形成	年間商品販売額	C				
和歌山県	田辺市	歩行者・自転車通行量	中心市街地5地点の歩行者・自転車通行量（休日）	A	①	②	②	②
		居住人口	中心市街地の居住人口	C				
平成21年6月30日認定								
愛知県	豊橋市	にぎわいの創出	駅前商業ゾーンの休日歩行者通行量	B	①	②	②	②
		にぎわいの創出	生活商業ゾーンの平日歩行者通行量	B				
		商業の活性化	小売業年間商品販売額	C				
		まちなか居住の推進	居住人口	C				
滋賀県	長浜市	活力と賑わいに満ちたまちづくり	歩行者・自転車通行量	C	①	②	②	③
		活力と賑わいに満ちたまちづくり及び歴史文化と薫り高い暮らしが息づくまちづくり	宿泊者数	a				
		歴史文化と薫り高い暮らしが息づくまちづくり	居住人口	c				
福岡県	直方市	中心部の都市機能を強化し、利便性を高めることによる賑わいの向上	歩行者・自転車通行量	C	①	②	②	②
		歴史と文化を活かした新たな魅力の発掘による交流人口の増加	街なか文化施設利用者数	C				